

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 小牧 幸代	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>①調査・研究：2013年度は、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究（C））「聖遺物の複製化・商品化をめぐるマテリアル・イスラームの研究」（研究代表者：小牧幸代）の3年目（＝最終年度）となり、南アジアでのみ顕著な「イスラーム聖遺物信仰」のきわめて局所的で現代的な側面を明らかにするため、イギリスにおける聖遺物信仰否定（プロテスタンティズム）の歴史、インドにおける聖遺物信仰と聖遺物グッズ製作の現場、中国における聖遺物グッズ製造受注販売の現状、パキスタンおよびバングラデシュにおける聖遺物信仰の実態に関する人類学的な現地調査を実施した。その結果、昨今の聖遺物信仰は前近代的な現象の残滓ではなく、9.11以降のインド・パキスタンにおける異なる宗教運動間の対立・競合に基づく活発化と近隣諸国・欧米諸国との政治経済外交関係の文脈の中で捉え直す必要のあることが明らかとなった。</p> <p>なお、インドの娯楽施設（テーマパークなど）における〈商品〉としての宗教・民族の展示のあり方の調査研究（高崎経済大学特別研究助成金「現代インドの映画産業・観光産業における〈商品〉としての宗教・民族：アドラブズ・イマジカの事例を中心に」研究代表者：小牧幸代）や、パキスタンにおける女性への「名誉をめぐる暴力（honor killing）」についての当事者の言説とNGO活動の調査（科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究（B））「地中海から西・南アジア地域の人々に関わる「名誉に基づく暴力」の文化人類学的研究」（研究代表者：京都大学人文科学研究所教授・田中雅一）は今年度、新規に開始したものであり、今後も継続の予定である。</p> <p>②論文・著書・エッセイ</p> <p>◆小牧幸代「聖なる複製・商品の信仰空間：イスラームの聖遺物とフェティシズム」田中雅一編『フェティシズム研究2 越境するモノ』京都大学学術出版会、2014年2月、pp.219-243.</p> <p>◆小牧幸代「インド最大のテーマパークにおけるイスラーム・イメージの消費」共同研究「イスラームに基づく経済活動・行為」（代表：福島康博）リレーエッセイ、2014年3月、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。 http://islamandeconomy.web.fc2.com/aaken/essay.html</p> <p>③学会発表・研究発表等</p> <p>◆小牧幸代「インド・パキスタン・バングラデシュ・スリランカ・イラン・トルコにおけるイスラーム聖遺物信仰調査：オリジナルとレプリカとグッズの種類と分布を通して見えてくる〈イスラーム地域〉像」海外学術調査フォーラム：南・西アジア・北アフリカ分科会、2013年6月29日、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。</p>	

◆小牧幸代「イスラーム改革主義と聖遺物信仰：バレーリー派の思想とチシュティー系聖者廟の実践」日本南アジア学会第26回全国大会、2013年10月5日、広島大学東広島キャンパス。

◆Sachiyo KOMAKI 'The Barelwi Movement and Its Influence on the Cult of Islamic Relics in Contemporary India.' SECOND CNRS-KIAS/SIAS JOINT SEMINAR, SECOND FRENCH-JAPANESE SEMINAR, SAINT CULTS, MAUSOLEUMS AND SUFI LINEAGES. 22th November 2013. CNRS/GSRL, Ecole Pratique des Hautes Etudes - Sorbonne, Paris.

④地域・社会活動等

◆2013年7月26～28日に山喜旅館（静岡県伊東市東松原町4-7）において開催された「第46回南アジア研究集会」に代表幹事として参加し、他大学・研究機関の研究者との共同で組織・運営をおこなった。期間中は、日本全国からベテラン～若手の研究者が集まっただけでなく、これから南アジアに関わろうとする学部学生や、南アジア経験の豊かな社会人などの積極的な参加を得て、会は非常に盛大なものとなった。大勢で寝食をともにしつつ、毎夜の各種イベント（インド映画鑑賞、花火大会、民族衣装着用、宴会）を通じた交流を経て、南アジアに関わる次世代の人材育成に大きく貢献した。

2 その他の事項

特になし